

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記項目の検査受託を開始することになりました。

取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 新規受託項目

- Asp f1 (アスペルギルス由来) (IgEシングルアレルゲン) : 項目コード 4658

#### 受託開始日

2021年10月18日(月) 受付分より新規受託開始

※詳細につきましては、裏面内容をご参照願います。



保健科学研究所	〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106	TEL. 045-333-1661
保健科学東日本	〒365-8585 埼玉県鴻巣市天神3-673	TEL. 048-543-4000
保健科学西日本	〒612-8486 京都府京都市伏見区羽束師古川町328	TEL. 075-933-6060

## 【受託要項】

項目コード	検査項目	検体必要量 (mL)	容器保存方法	検査方法	基準値・単位	報告範囲	所要日数	実施料判断料
4658	Asp f1 (アスペルギルス由来) 5A100-2523-023-023-01	血清 0.4	A1-1 冷蔵	FEIA法	0.35未満 UA/mL	0.10未満 } 100以上	2~4	110 免疫

### ▼臨床的意義

アレルギー性気管支肺アスペルギルス症（ABPA）は真菌が原因で発症する疾患で、気道に到達した孢子が発芽・定着することで気道内でアレルギー反応を誘発し発症します。

真菌の中でもとりわけAspergillus fumigatusが原因となる割合が多いことが報告されています。

Asp f1はAspergillus fumigatusの発芽後に分泌されるアレルギーコンポーネントであり、Asp f1への感作は気道内でのアスペルギルスの定着の証明となり、ABPAの診断に有用です。

また、アスペルギルスとAsp f1と組み合わせて検査することにより、より精度の高い診断が可能となることが期待されます。

### ▼検査方法参考文献

- ・日本アレルギー学会 日本呼吸器学会監修 「アレルギー性気管支肺真菌症」 研究班 アレルギー性気管支肺真菌症の診療の手引き 医学書院 2019
- ・我妻義則, 他：医学と薬学 23：83, 1990